

公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和8年7月10日

施 設 名	こうち男女共同参画センター	所管課	子ども・福祉政策部 人権・男女共同参画課
-------	---------------	-----	-------------------------

1 施設の概要

指 定 管 理 者 名	公益財団法人 こうち男女共同参画社会づくり財団	指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
施 設 所 在 地	高知市旭町3丁目115番地		
事 業 内 容	1 男女共同参画の推進に関する情報の収集及び提供 2 男女共同参画の推進に関する調査研究 3 男女共同参画の推進に対する県民の理解を深めるための広報及び啓発 4 男女共同参画の推進に関する講演会、講習会、研修会等の開催 5 男女共同参画を推進する人材の育成 6 女性問題の解決その他男女共同参画の推進に向けた相談 7 男女共同参画の推進に資する活動を行う団体等の相互交流の促進及び自主的活動への支援 8 その他センターの設置の目的を達成するために必要な業務		
施 設 内 容	敷地面積 2,267.81㎡、建築面積 1,619.08㎡、延床面積 4,974.09㎡ 鉄筋コンクリート造、南棟5階、北棟3階（平成10年10月竣工） 入所機関 高知県消費生活センター、ひとり親家庭支援センター他 貸施設等 創作実習室・大会議室・研修室（3室）・調理実習室・和室（2室）・視聴覚室 レクリエーション室・コインロッカー 休館日 第2水曜日、国民の祝日及び年末年始 開館時間 土・日・月以外の日は午前9時～午後9時、 土・日・月は午前9時～午後5時		
職 員 体 制	常勤職員：11人 非常勤職員：0人 合計：11人		

2 収支の状況

単位：千円

		令和6年度(決算)	令和7年度(決算)	令和8年度(予算)
収 入	県支出金	74,540	79,817	82,518
	使用料・手数料	9,992	8,972	10,313
	その他	694	2,374	701
	収入計 (a)	85,226	91,163	93,532
支 出	事業費	12,375	12,900	16,625
	管理運営費	35,094	34,834	36,197
	人件費	39,773	40,796	40,710
	その他			
	支出計 (b)	87,242	88,530	93,532
収支差額 (a)－(b)		-2,016	2,633	0

3 利用状況

	令和6年度(実績)	令和7年度(実績)	令和8年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	45,387	35,451	35,500
年間利用件数(単位:件)	3,810	3,376	3,400
②利用者意見等の反映	○ 利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等) 【実施期間】 令和8年2月5日(木)～令和8年3月5日(木)まで 【対象】 期間中における貸室及び託児室、図書室、グループ交流室、印刷室の利用者 【方法】 貸室利用者に対しては、鍵を渡す際にアンケート用紙を手渡し、託児室、図書室、グループ交流室、印刷室には用紙を置いて自由に記入していただいた。団体単位でなく、個人単位で回答していただくようにし、利用団体には利用毎に参加者全員に回答を依頼した。 受付前、託児室、グループ交流室、印刷室に回収箱を設置し、随時回収した。 QRコードによるWebアンケートも実施した。 【回答者数】 268名(配布数350枚、うちWeb回答0名、回収率76.6%) 【評価(満足・ほぼ満足の割合)】※()は前年度評価割合 ・職員の対応・接客 78.8% (90.7%) ・施設の清掃状況 96.3% (97.8%) ・施設の使いやすさ 88.4% (92.6%) ・利用者の年代 最も多いのは70代で全体の36.9%、最も少ないのは20代以下で全体の0.7% 全利用者の74.2%が60代以上		
	○ 講座・講演会アンケート 【実施時期、方法、対象】 講座・講演会の開催時に、参加者にアンケート用紙を配布し、10点評価で満足度を調査した。(16事業で実施) 満足度 ※()は前年度点数 ・平均 : 9.0点 (9.0点) ・最高 : 9.8点 (9.6点) ・最低 : 8.1点 (8.3点)		
	○ 利用者意見等を踏まえた対策 施設の清掃状況や、実施事業の満足度は高い。 利用者アンケートで改善要望のあったもののうち、利用料金等の県が定めるものを除き、指定管理者が行う備品や施設の修繕等については、可能な限り取り組んでいる。		
	○ その他 運営委員会(年2回開催)メンバーとして、利用団体、女性団体、大学・教育関係、NPO、行政職員、学識経験者など、幅広い分野の方々に参画いただき、センターの運営や事業に対する意見を反映させている。		
③その他特記事項	特になし		

4 年度業務評価

項 目	状 況 説 明
①適正な管理運営の確保	(評価できる取組等) ・設置目的に従って、公益的な視点から適切な管理運営ができています。
②施設利用の促進に関する事項	(評価できる取組等) ・大学等との連携による若者層への利用拡大に向けたアプローチが拡充されている。 ・主催事業の実施時や、大勢の貸室利用者が見込まれる場合には、駐車場整理員を配置させて、利用者間のトラブルを未然に防いでいる。 ・R6年度と利用者アンケートを比較すると、「職員の対応・接客」、「施設の清掃状況」、「施設の使いやすさ」すべてにおいて満足度が低減しているが、比較的高水準を保っており、施設のサービスが一定の評価を受けていると考えられる。

③男女共同参画推進のための事業展開	(評価できる取組等) ・R6年度に引き続き、複数の講演会等でオンラインやオンデマンド配信を取り入れ、参加者数の増加へつなげている。 ・出前講座事業では、参加者数が過去最多の前年に次ぐ2番目に多い参加となっており、地域課題の解決と男女共同参画の理解浸透のために取り組んでいる。 (改善を求める事項) ・大学との連携講座の開催や、男性の集客を意図した講師の選定などの工夫により、利用者の幅を広げることができているが、引き続き、若年層や男性など利用の少ない層へのアプローチを継続する必要がある。
④指定管理期間内での達成目標に関する事項	(評価できる取組等) ・6項目(HP訪問件数、出前講座参加者数、講演会等の参加者満足度、人材育成業務、相談件数、相談員スキルアップ研修参加者数)で目標を達成し、その他の項目もある程度目標に近い成果を上げており、地道な取組が結実したものと評価する。 (改善すべき課題) ・FacebookやInstagramのフォロワー数は引き続き課題となっており、SNS運用の外部発注も検討するなど、投稿の構成や表現方法の見直しをすることで、より多くの人にソーレのことを知ってもらえるような情報発信を行う必要がある。
⑤管理代行料に関する事項	(評価できる取組等) ・事業や施設維持に係る経費が高騰するなかで、経費削減に努めている。 ・限られた管理代行料のなかで、多くの事業に取り組んでいる。
総合評価	B ・指定管理施設の管理運営は概ね適正に行われている。 ・女性版骨太の方針においては男女共同参画センターの機能強化に関する内容が盛り込まれるとともに、令和7年度には基本法が改正されたところである。 ・高知県の男女共同参画事業の拠点施設として、県下全域に事業効果を発揮すべく、国のガイドラインを職員と共有のうえ、地域の関係者との連携・協働により、地域の実情に応じた課題解決に向け、一層取り組む必要がある。

- 【評価の目安】
- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 - B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 - C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 - D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの